短歌

奨励賞

花歳時

若杉町　村上　滋子

浸水に夫丹精の菊の葉の色の褪め果て影無きごとし

秋近き風に吹かるる朝顔の種揺るる辺に小さき花咲く

台風の過ぎて揺れ居るコスモスの裂くるはなびら紅の鮮やか

鶏頭に零れし種の芽吹きをり何時を目指すやその花の季

森陰に花咲き初めて萩の叢華やぎながらいろ穏やかに